

どうしてサイがこの小島に？

舅ヶ島海岸が有名なのには数多くの理由があります。砂の代わりに丸い小石で覆われた浜辺もその一つです。弧を描く浜辺から望む海は緑がかった美しい青色をしており、その浅瀬は、足まで浸るのにも泳ぐのにも魅力的です。

島に繋がる島

もう一つのスポットは、奈留島と近くの小島を結ぶ短い陸地による通路です。この岩場の通路は比較的平坦なので、歩いて楽に渡ることができ、小島へは気軽に足を伸ばすことができます。日光浴に来た観光客には景色が物足りないかもしれませんが、地域における地質の歴史を覗いてみたいという方にとっては、大変興味深い島です。

実際、この平たい岩場や、特徴的な層を水平に成す島中の堆積岩を見ると、五島列島を形作った歴史を思い起こさずにはいられません。波風による長年の侵食により露出したそれらの岩は、主に五島層群に由来する砂岩と泥岩の層により形成されました。奈留島には島が生まれる遥か昔の痕跡も残っています。五島層群を作った物質が、かつてユーラシア大陸と繋がっていた時代の痕跡です。

泥に残った足跡

例えば、この平たい岩場では、サイをはじめとする大型動物の足跡を見つけることができます。足跡を残した古代生物は、今と同じ五島列島に生息していたわけではありません。太古の昔、後に五島層群の一部になる、ぬかるんだ湿地の泥の中を歩いていました。その後、ユーラシア大陸から分かれた五島層群は、五島列島を形成しました。

舅ヶ島は、長崎県により自然環境保全地域に指定されています。